



新入生歓迎式 合同練習会

OBOG約20名の参加で活気

新入生歓迎式
OBOG現役合同練習会
定期総会

生田キャンパス3号館「蒼翼の間」で
開催された新入生歓迎式（7月8日）で



7月8日、約20名のOBOGが参加した現役部員との合同練習会。その熱気を生田キャンパス3号館「蒼翼の間」に移し、新入生歓迎式が行われました。

先日の昇級試験で級拳士となった新入部員の二人は、少林寺拳法の精神性に魅力を感じながら、今後の大会等での上位入賞にも意欲を示しています。

今回は新型コロナウイルスによる制限もなくなり、若いOBOGも多く参加し、和やかな会となりました。緑拳会は現役の活躍あつての緑拳会と、参加されたOBOGには思いを新たにされたのではないのでしょうか。

一方、現役にとつては、緑拳会OBOGの支援や応援が活動の励みになっていると思います。毎年、各大会では優秀な成績を収め、その活躍ぶりは専修大学体育会「敢闘選手賞」（2年連続）にも表れています。専大少林寺拳法部の活き活きとした躍動に、これからも期待したいと思います。



新入生歓迎式で、OBOG
からのサプライズプレゼント

「現役支援」OBOG間の
親睦」を目的に

8月に入り、ひとときわ厳しい日差しが照りつけておりますが、緑拳会の皆さまに於かれましては変わらずご活躍のことと存じます。

さて、この度、緑拳会ニュース第2号をお届けいたします。今回は2023年1月～7月までのニュースが盛りだくさんの内容で、特に新入部員2名の対談など新たな企画も取り入れました。

7月の緑拳会定期総会と同時に開催されたOBOG現役合同練習会、新入生歓迎会では多くの若手OBOGが参加し、現役部員、OBOG同士との交流を深めました。

定期総会でも申し上げましたが、今後の緑拳会の運営には若い力が必要不可欠です。

緑拳会の目的である「現役支援」と「OBOG間の親睦」をいっそう深耕するために、引き続き緑拳会へのご協力ご支援の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

緑拳会会長 樋口薫

少林寺拳法部の熱意に感動 演武もカッコいい

7月8日に開催された新入生歓迎式では、2人の新しい部員が紹介されました。少林寺拳法と部活にどんな思いを抱いているのか。大学生活での目標も含めて対談形式で聞いてみました。



榎木 花梨 さん
ネットワーク情報学部
ネットワーク情報学科
(出身校：目白研心高等学校)



黒川 栄優 さん
経済学部国際経済学科
(出身校：八王子学園
八王子高等学校)

◆入部の動機

黒川 高校ではバレーボール部でしたが、授業で柔道をしたとき楽しいなと思い、それ以来、武道に興味を持つようになり、勧誘期間に練習会に参加して、少林寺拳法部の雰囲気、気の良さや熱意を感じました。教えていただく際も熱心で丁寧。演武もカッコいいと思いました。

榎木 もともとスポーツはしていましたが、武道は初めてでしたので体験会では不安を感じていました。でも皆さん褒めてくれたり、優しく教えていただいたりと不安はなくなっていました。また帰るときは部員一緒で、そんな関係性にあこがれていました。

父が大学の空手部で主将をしていましたが、亡くなった今も後輩の皆さんが毎年集まってくれて思い出話に花を咲かせています。この少林寺拳法部なら、そういう出会いや関係性を持てるんじゃないかなと思ったのです。

◆少林寺拳法の魅力

黒川 少林寺拳法に関しては、

最初のころは固い印象がありましたが、今では少林寺の精神（礼儀や作法）を身に付けることで、今後社会に出てからも貴重な財産になるのではと思うようになりました。部活についてはアットホームな感じというか、部員数が多い多くない代わり、深い関係性を築けるのかなと思います。

榎木 少林寺拳法の精神、人格の形成を目指しているところにも魅力を感じます。私も先輩たちの演武の動画を見せていただいて、カッコいいと思いました。私は負けず嫌いなところがあつて大会では1位を目指したいです。少林寺拳法は大学から始めても高い成績を目指すところが魅力です。

◆今後4年間でやりたいこと

黒川 部活も含めて4年間はあつという間に過ぎてしまうと思います。これまではあまりメリハリを付けずに来てしまったので、大学生活では海外に関わる仕事に就けるよう、目標をもつて過ごしたいと思います。少林寺でも世界大会に出場し

て世界の人と交流していきたいです。

榎木 先日の新入生歓迎式では多くのOBOGの方から温かく迎えていただきました。このような良き先輩後輩のタテの関係が続いていくことは素晴らしいと思います。今後はより活気ある部活を築く一助となり、少林寺も上手くなり、少林寺拳法を知らない人にも、もっと知ってもらえるようになりたいです。大学ではいろいろな人と関わりながら、自分の目標に向かっていきたいと思っています。



7月26日、昇級試験の会場、月島スポーツプラザにて

内外での活躍、体育会「敢闘選手賞」も

近況と抱負

56代主将
林 拓斗
(経済学部生活環境学科)

OBOGの先輩方、お世話になっております。
専修大学体育会少林寺拳法部56代主将の林です。
早速ですが近況報告をさせていただきます。

今春入部した1年生の初めての昇級試験が7月26日に終了し、晴れて緑帯を巻けることになりました。思い返すと1月の末から勧誘活動の準備に取り掛かり、その間にも関東学生大会、神奈川県大会の練習、4年生に関しては就職活動も並行して行わなければならないというハードな毎日でした。そのような中でも部員同士お互いが協力しあって活動していくことが出来ました。

色々なことが一段落したばかりですが、新人戦が9月に行われるため「あまりゆっくりもしてられないな」と思う今日この頃です。

今後の抱負としましては、まず新人戦での全員入賞をはじめ、これから開催される様々な大会でひとりでも多くの部員が好成績を残せるよう精進していきます。また部員一人ひとりの技術力の向上を目指します。

これからも専大少林寺拳法部の看板を背負い、精一杯努力して参りますので、引き続きご支援、ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。



3月、本山合宿での一コマ



4月、生田キャンパスでの新入生勧誘の様様

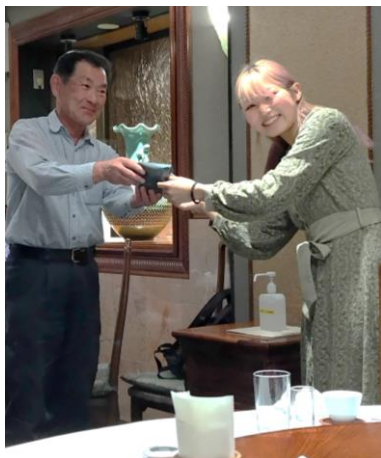


専大体育会「敢闘選手賞」の表彰状



神奈川県大会で優秀な成績を収め、全国大会へ

現役との合同練習会、関連団体との交流も



55代の卒業を祝う会を開催。
緑拳会から記念品を贈呈



7月8日に、生田キャンパス第一体育館
で開催されたOB OG 現役合同練習会

4代尾島茂OBが、4月24日に永眠されました。
神奈川支部長として、箱根での懇親会を
企画・主催していただいたのをはじめ、
緑拳会活動と現役支援に、
長きにわたり、ご尽力いただきました。
ここに深く感謝の意を表しますとともに、
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



関東学生OB会連合会「結成40周年記念祝賀会」
(6月17日、東京・錦糸町の東京ホテルレバントにて)

新支部長

神奈川支部長
渡辺 久OB(36代)



結手

合掌 皆さん、こんにちは。この度、4
代尾島先輩の後任として神奈川支部長を
務めさせて頂くことになりました、36代
渡辺と申します。
大学を卒業しOBになって早20年が経
ちました。私が社会人になった頃はまだ
尾島先輩はオーケーに在職されており、
OBとしてだけではなく、仕事面でも尾
島先輩には大変お世話になっておりまし
た。この場をお借りして、改めてご冥福
をお祈り申し上げます。
緑拳会会員でありながら、なかなか会
合等に参加することもできていない中、
このような大役を務めさせて頂くことに
大変恐縮しております。緑拳会には偉大
なる先輩方や優秀な後輩が多く在籍して
おり、皆が様々な分野でご活躍されてお
ります。私はまだまだ未熟で力不足では
ございますが、皆様のご指導を賜りつつ、
よりよい支部作りを目指していきたいと
思っております。
至らぬ点も多々あるかと思いますが、
ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げ
ます。